

対象現場：社会資本整備総合交付金(河川)整備工事(芝宮橋旧橋上部工撤去工)

2018/07/17(火)10:00～芝宮橋旧橋上部工撤去工のパトロールを行いました。

作業場所は日陰がないので熱中症対策には特に気を付けていました。休憩所には塩分が含まれた飴やスポーツドリンクを常備し、こまめに休憩をしていました。また、熱中症の症状と緊急措置の掲示物を事務所の入口に掲示し、作業を行っている下請けさんの中に症状が該当する人がいないかコミュニケーションを図りながら作業を行っているとのことでした。

床版を撤去するために、作業を行う箇所の安全柵の撤去とワイヤーソーを通すためのコア削孔を終えて、現場では、床板のコンクリート部分の切断作業を行っていました。

作業時のカッター汚泥が川に流れないようにどのように対策を取っているのが聞いたところ橋の下に汚泥を溜める場所を設置しポンプで回収しているということでした。またその汚泥は現場で綺麗な水に変え新河岸川に戻していました。



↑熱中症の症状と措置内容が記載された掲示物。



↑ワイヤーソーのワイヤーが切れて近くにいる人が事故に起きないようにカバーをしていました。



↑カッター汚泥が川に流れない為の工夫が見られました。

平日は工事を行っている為、荒川の河川道路までの通路は通行止めとなっていますが、休日は利用者が多くいるので金曜の夕方に開放したりと地域の方への配慮が伺えました。

当日は気温が高くあまり風も吹かなかつたので立っただけでも汗をたくさんかきました。短い時間でしたが、現場の方の苦勞を感じることができました。これから更に熱くなるので熱中症に気を付けて作業を進めてほしいと感じました。



パトロール内容

実施作業内容 : ワイヤソーイング床板切断・クローラークレーンによる撤去

本社指示事項 : クローラークレーン周辺の保安設備徹底の確認

実施者確認 :

保安設備設置状況良好。

バリケードでクレーンの稼働範囲を囲み、クレーン周辺への立入りが無いよう防護している。

平日は通行止めとなるため、バリケードを90度回転することで車両通行帯を塞ぎ、H鋼付ガードレール及びコーンバーによる歩行者通路のみを確保した状態。

また、施工範囲の出入り口両端部に交通誘導員を配置し、地域住民への説明と誘導を行っている。

車両通行が可能となる土日については、回転部分のバリケードを封鎖し、歩行者通路及び車両通行帯を確保し、誘導看板を設置している。

平日(通行止め時)



土日(車両通行時)



他作業確認写真

